

一宮市立小学校空調設備整備事業

審査講評

平成 30 年 1 月 31 日

一宮市立小学校空調設備整備事業者審査委員会

一宮市立小学校空調設備整備事業者審査委員会（以下「審査委員会」といいます。）は、一宮市立小学校空調設備整備事業（以下「本事業」といいます。）に関して、事業者選定基準（平成 29 年 7 月 11 日公表）に基づき、提案内容等の審査を行いましたので、審査結果及び審査講評をここに報告します。

平成 30 年 1 月 31 日

一宮市立小学校空調設備整備事業者審査委員会
委員長 奥野 信宏

目次

1 審査委員会の構成	1
2 審査委員会の開催経過	1
3 優先交渉権者決定までの流れの概要	1
4 審査結果	3
(1) 資格審査の結果	3
(2) 基礎審査の結果	3
ア 提案価格の確認	3
イ 基礎的事項の確認	3
(3) 総合評価の結果	3
ア ヒアリングの実施	3
イ 提案内容の評価	3
ウ 提案価格の評価	5
エ 総合評価の評価点及び優秀提案者の選定	5
5 審査講評	6
(1) 提案内容に対する講評	6
ア 事業実施に関する項目	6
イ 設備整備に関する項目	6
ウ 維持管理に関する項目	7
(2) 総評	8
図表 1 審査委員会の開催経過	1
図表 2 優先交渉権者決定までの流れ	2
図表 3 資格審査結果	3
図表 4 評価項目の採点基準	4
図表 5 評価結果	4
図表 6 価格点の算出方法	5
図表 7 提案価格の評価結果	5
図表 8 総合評価点	5

1 審査委員会の構成

審査委員会の構成は、次の5名です。

委員長 奥野 信宏（公益財団法人名古屋まちづくり公社 名古屋都市センター長）

委員 奥宮 正哉（名古屋大学大学院環境学研究科教授）

委員 三井 哲（名古屋学院大学商学部教授）

委員 春日井 毅（一宮市小中学校長会小学校部会長・一宮市立宮西小学校長）

委員 福井 斉（一宮市副市長）

2 審査委員会の開催経過

審査委員会の開催経過は、図表1のとおりです。

図表1 審査委員会の開催経過

回数	日程	内容
第1回	平成29年 5月8日	・事業概要について ・審査委員会について
第2回	6月19日	・事業者選定基準に関する審議 ・審査の進め方について
第3回	11月27日	・提案内容に関する意見交換
第4回	12月18日	・ヒアリング ・提案内容に関する審議・評価 ・優秀提案者の選定

3 優先交渉権者決定までの流れの概要

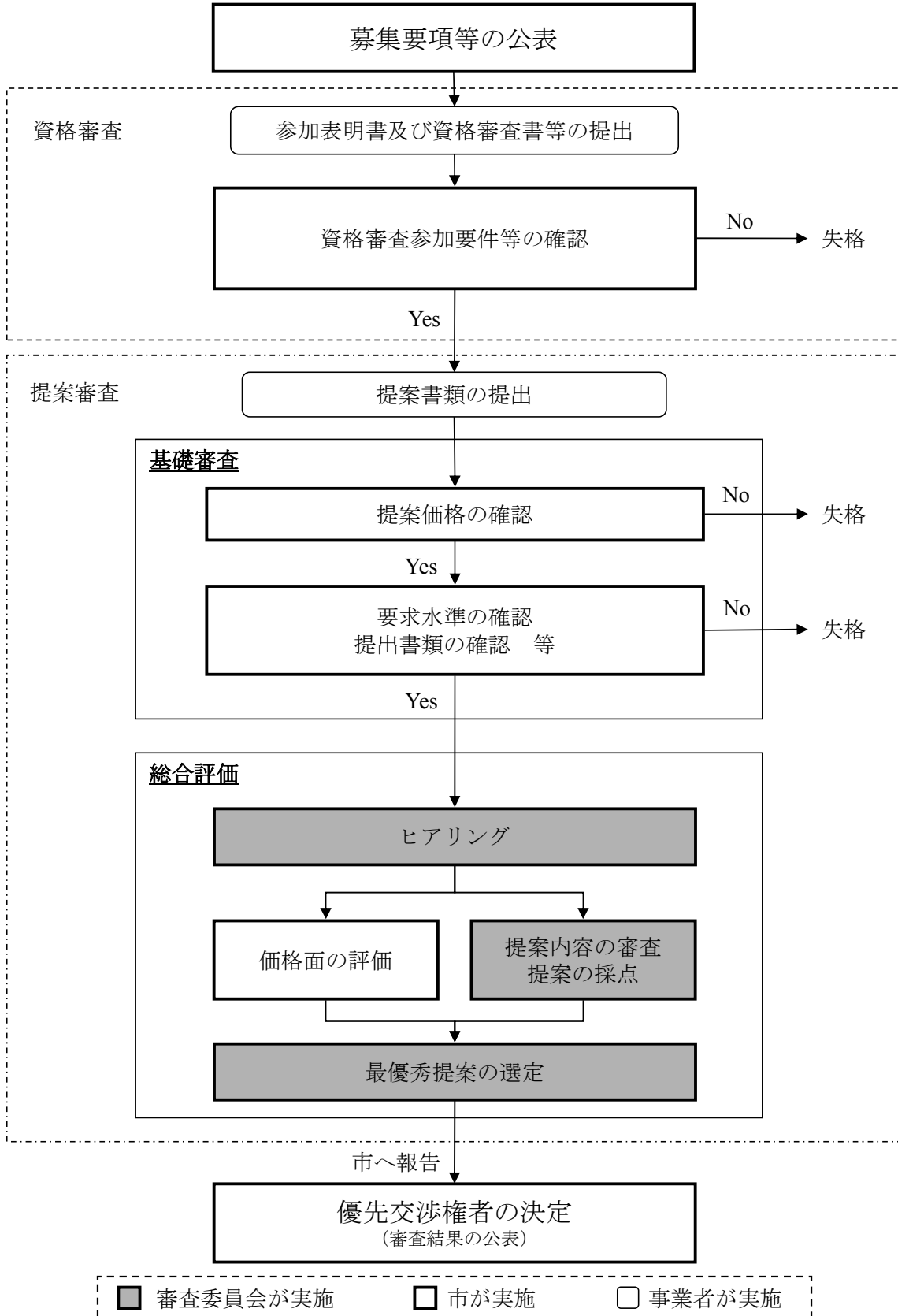
優先交渉権者の決定は、図表2に示すとおり、資格審査と提案審査（基礎審査と総合評価で構成）により行いました。

総合評価では、一宮市（以下「市」といいます。）が設置した審査委員会において、資格審査通過者から提出された提案内容の審査・評価を行い、優秀提案者を選定しました。

市は、審査委員会の審査結果を踏まえ、選定された優秀提案者を、事業契約締結に向けて交渉を行う優先交渉権者として、決定しました。

（後述の通り、応募者は1社のみであったため、次点提案者及び次点者は選定していません。）

図表2 優先交渉権者決定までの流れ



4 審査結果

(1) 資格審査の結果

参加資格審査の申込書受付期限である平成 29 年 8 月 25 日までに、1 グループから参加表明書及び資格審査書類の提出がありました。参加資格要件等の確認審査を行った結果、同グループについて公募型プロポーザル参加資格を有することを確認し、その結果を平成 29 年 9 月 4 日付けで図表 3 のとおり通知しました。

図表 3 資格審査結果

受付番号	企業名		結果
001	代表企業	東邦ガスエンジニアリング株式会社	○
	構成企業	株式会社垣見設計事務所	

(2) 基礎審査の結果

資格審査を通過した 1 グループ（以下「資格審査通過者」といいます。）から、平成 29 年 10 月 19 日に提案価格書及び事業提案書が提出されました。

ア 提案価格の確認

資格審査通過者が提出した提案価格書を確認し、市が予め上限額として設定した参考価格（2,557,490 千円）を超えていないことが確認されました。

イ 基礎的事項の確認

資格審査通過者の事業提案書が、事業者選定基準に示した基礎的事項（要求水準の達成、市が支払うべきサービス対価）を充足していることを確認し、要件に適合していることが確認されました。

(3) 総合評価の結果

ア ヒアリングの実施

事業提案書の審査に当たり、提案内容の確認のために、資格審査通過者に対し、平成 29 年 12 月 18 日にヒアリングを実施しました。

イ 提案内容の評価

(ア) 提案内容の採点基準及び評価の決定方法

審査委員会は、審査委員会で定めた事業者選定基準に基づき、提案内容の審査を行いました。提案内容の審査においては、各評価項目に対して図表 4 に示す 4 段階の基準により評価を行いました。また、評価の決定にあたっては、各審査項目に対する各審査委員の採点を平均することにより決定する方法を採用しました。

図表 4 評価項目の採点基準

評 価	評価内容	採点基準
A	具体的に極めて優れた提案がある	配点×1.0
B	具体的に優れた提案がある	配点×0.7
C	具体的に提案がある	配点×0.3
D	特に要求水準を超える提案がない	配点×0.0

(イ) 提案内容の評価結果

提案内容の評価結果は、図表 5 のとおりです。

図表 5 評価結果

項目	配点	受付番号 001
(ア) 事業実施に関する項目	35	29.8
事業計画（実施体制、工程等）の妥当性	5	4.4
リスクへの適切な対応及び事業継続性の確保	5	3.1
地域の活性化への貢献	10	8.8
安全で快適な室内環境の実現	10	8.8
環境負荷低減への配慮	5	4.7
(イ) 設備整備に関する項目	45	34.4
設計・施工計画、設計・施工体制の妥当性	20	14.6
空調設備の性能（快適性、操作性、安全性等への配慮）	20	16.4
フレキシビリティへの配慮	5	3.4
(ウ) 維持管理に関する項目	20	16.3
維持管理計画、維持管理体制の妥当性	15	12.6
モニタリングの実施	5	3.7
合計	100	80.5

ウ 提案価格の評価

(ア) 提案価格の評価方法

提案価格の評価点の算出にあたり、市は、資格審査通過者の提案する提案価格に、維持管理期間内の空調設備の運用に係るエネルギー費用の総額を加え、その合計（以下「ライフサイクルコスト」といいます。）に対し、図表 6 の算定式を適用することとしました。

図表 6 価格点の算出方法

$$\text{価格点} = \frac{\text{提案のうち最も低いライフサイクルコストの総額}}{\text{資格審査通過者の提示するライフサイクルコストの総額}} \times 100\text{点}$$

※有効桁数は小数点第1位とし、小数点第2位は四捨五入する。

(イ) 提案価格の評価結果

上記の評価方法に基づき、「受付番号 001」に対して、価格点を算出しました。提案価格の評価は図表 7 のとおりです。

図表 7 提案価格の評価結果

受付番号	001
提案したライフサイクルコストの総額	3,204,555,715 円
提案のうち最も低いライフサイクルコストの総額	3,204,555,715 円
価格点	100 点

エ 総合評価の評価点及び優秀提案者の選定

審査委員会において、提案内容の評価と提案価格の評価を合計して、総合評価点を算出しました。総合評価点は図表 8 のとおりです。

図表 8 総合評価点

受付番号	001
提案内容の評価	80.5 点
提案価格の評価	100 点
総合評価点	180.5 点

以上により、審査委員会は、事業者選定基準に基づき、受付番号 001 の東邦ガスエンジニアリング株式会社を代表企業とするグループを優秀提案者として選定しました。

5 審査講評

(1) 提案内容に対する講評

受付番号 001 の東邦ガスエンジニアリング株式会社を代表企業とするグループ(以下「提案者」といいます。)の提案内容については、評価項目ごとに次のとおり評価されました。

ア 事業実施に関する項目

評価項目	評価ポイント
事業計画（実施体制、工程等）の妥当性	「地域に信頼され、喜ばれる」、「環境に配慮し、人にもコストにも優しい」、「安全で安心なサービス提供と健全な運営」の基本方針が、提案書全体に反映されている点及び実績豊富な代表企業が事業全体を一貫して取りまとめる実施方針が評価されました。
リスクへの適切な対応及び事業継続性の確保	代表企業の事業の安定性及び代表企業による事業継続性確保のための方針等が評価されました。
地域の活性化への貢献	市内企業 13 社が、全教室数の 60%以上において設計・施工に携わるなど、市内企業の活用を最大限に図っている点が評価されました。
安全で快適な室内環境の実現	児童が触れないように室内機の設置場所を設計している点が評価されました。
環境負荷低減への配慮	室外機の設計において、大容量 1 台ではなく、小容量 2 台を連結して設置し、負荷低減時には運用を 1 台に切り替える体制により環境負荷の低減を図っている点が評価されました。

イ 設備整備に関する項目

評価項目	評価ポイント
設計・施工計画、設計・施工体制の妥当性	余裕のある設計・施工スケジュール並びに施工時及び工事監理時の検査体制にチェックリストを用いることにより統一的な施工水準を図っている点が評価されました。

空調設備の性能(快適性、操作性、安全性等への配慮)	教室ごとに最適な空調能力の機器を選択している点、不快なドラフトを発生させないような配慮及び隣地への騒音配慮等が評価されました。
フレキシビリティへの配慮	実績豊富なメーカーの採用及び予備機等の確保による将来的な安心の確保がされている点並びに室外機的设计において、大容量1台ではなく小容量2台を連結して設置することで、1台が故障した際にバックアップ運転ができること及びローテーション運転により機器の長寿命化を図っている点が評価されました。

ウ 維持管理に関する項目

評価項目	評価ポイント
維持管理計画、維持管理体制の妥当性	点検・フィルター清掃において、ゆとりのあるスケジュール体制及び故障等を素早く感知できる体制が評価されました。
モニタリングの実施	使用エネルギーを小学校ごとに比較しながらモニタリングを実施するなど、省エネルギー化への貢献を図っている点が評価されました。

(2) 総評

本事業においては、事業対象が学校教育現場という特性上、同時期・短期間に空調設備を一斉導入することに加え、安全で快適な室内環境の提供、機器運用にあたっての利便性の確保、地域の活性化への貢献、環境負荷低減、安全に配慮した設計・施行、長期的に快適な学習環境を提供できる維持管理体制及び異常発生時のバックアップ体制の確保等、多岐に渡る項目において、民間事業者の技術やノウハウを活かした提案がされることを期待していました。

優秀提案者においては、提案時点で全小学校の設計を概ね完了し、事業契約締結後すぐに各校と協議可能な体制を整えることで、主要な工事全てを小学校の夏季休業期間中に実施する教育環境に配慮されたスケジュールを提案しています。また、設計・施工業者には、株式会社垣見設計事務所をはじめ 13 社の市内企業を活用し、空調導入教室の 60%以上を市内企業が担当する役割分担とすることで、地域の活性化への貢献を図っています。

設計においては、室外機周囲には児童が乗り越えにくいようにメッシュフェンスを設置するとともに、室内機も児童の手の届かない高さに設置するなど、安全性への配慮がされています。

施工においては、市内企業を始め多くの施工企業が参画する計画ではありますが、代表企業である東邦ガスエンジニアリング株式会社を中心にチェックリストを作成するとともに、施工終了時には東邦ガスエンジニアリング株式会社が全小学校の施工状況を確認し、さらに工事管理において、構成企業である株式会社垣見設計事務所が全小学校の検査員を務めることで、統一的な施工水準の確保を図る方針となっています。

空調方式においては、都市ガス供給校においては原則として都市ガス GHP（ガスヒートポンプ）方式を採用し、残りを EHP（電気モータヒートポンプ）方式としていますが、空調機器においてはいずれの方式でもトップランナー機器を採用すると共に小容量室外器を 2 台連結設置することで、環境負荷低減を実現する計画としています。また、GHP・EHP とともにリモコンのメーカーを統一することで、全小学校の使用方法を均一化し、利便性の向上も図っています。

維持管理においては、機器に異常が発生した際には遠隔で感知できるシステムを構築するとともに、東邦ガスエンジニアリング株式会社において、24 時間受付可能な窓口を設けることで、故障発生時のバックアップ体制を構築しています。また、モニタリング時には、エネルギー検討会の開催等を通じて、省エネルギー化に関するアドバイス等を実施し、市の負担するエネルギーコスト削減に寄与する仕組みが提案されています。

このように、優秀提案者からは、本事業の目的を十分に踏まえた提案をいただきましたが、本事業は小学校を対象とした事業であり、児童の安全面には格別の配慮を要

することから、事業の実施にあたっては、市及び各小学校と十分に協議を重ねた上で、現場からの要望がある場合には、可能な限り取り入れていただくようお願いします。併せて、13年の長期に渡る運用を念頭に、設計・施工から維持管理・モニタリングまで、徹頭徹尾、丁寧な事業運営を心掛けていただき、継続的に児童の学習環境に資するよう取り組んでいただきたいと思います。また、実際の設計・施工に際しては、市内企業の方が多数参画予定とのことですので、実績豊富な東邦ガスエンジニアリング株式会社と地元を熟知した市内企業とが、一致団結し、それぞれの得意分野をいかに本事業に反映していただくことを期待しています。

最後に審査委員会として、本事業への提案審査に参加した事業者グループの協力と市の本事業に対する努力と熱意に敬意を表します。本事業が順調に実施され、学校教育環境がさらに快適なものとなり、市の学校教育の充実に寄与することを願います。

以上